



子育てしやすい社会をつくるために…



NPO 法人わははネット

理事長 中橋 恵美子

私達 NPO 法人わははネットの語源は「輪母」。まさにママ達のネットワーク、という意味で名付けた子育てサークルが出身だ。

少子化だ、子育て支援だ、と言ってもまだまだ社会は子育て中の人達に優しいとは言いがたい。先日も飛行機の中で大泣きしている子どもがいたが近くの席の人達の大きなため息と咳払いで、お母さんのイライラが募ってかえって子どもが泣きやまない…という悪循環に遭遇した。いたたまれない気持ちになった。子どもの泣き声を、子どもの歌い声と読み替えて大らかな気持ちで受け止めてくれる社会ができないだろうか。子どもは社会の宝だから、とみんなが優しく受け入れ共に育てる懐が持てないだろうか。そんな思いが私達の活動の原点にある。

わははネットでは地域密着型の子育て情報誌の発行や商店街等での子育てひろばを運営している。そこには大勢の子育て中のママ達が集まり様々な声が届く。

「転勤して来て小さな子どもと二人で家の中で一日過ごす日本語のキャッチボールをすることがない。」「子どもが生まれても働きたいが、保育園に子どもを預けても、再々熱を出したり病気をもらってくるので、子どもが保育園を休むたびに自分が仕事を休んで看護することになり会社がそれを認めてくれなくなってしかたなく退職した。」「首の座らない子を抱くのは我が子がはじめて。なんで泣いているのか？ どうして欲しいのかさっぱりわからないし教えてくれる人が傍にいない。」こんな声であふれている。

家庭の中でゆっくりパートナーが子育てに向き合い妻の話の聞いてくれる時間を取れば。だれか地域の方が家庭に優しい手を差し伸べれば。お店や施設で子育てにやさしいサービスなどがあれば…。子育てを家庭の中だけの問題とせず社会全体で取り組みたい。そのためのノウハウや情報を母親だけでなく企業や社会にも伝えながら改善できれば。

わははネットが発案して子育てママの声から生まれた「子育てタクシー」は今や北海道から沖縄まで全国で走りだした。また、子育てマンションや子育てにやさしい店舗や企業の認証「かがわこどもの駅」事業なども香川県から委託を受けて実施している。

企業と子育て家庭の橋渡しをしながら、よりよい子育て環境を生み出すお手伝いができたら…それがわははネットのミッションである。